

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係

沖縄復帰記念式典(4) (ロジスティックス関係)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43583">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43583</a>

山中總務長官挨拶

沖繩復帰記念式典（那覇会場）における  
山中総理府総務長官あいさつ

本日、ここに、各界を代表する多数の方々のご参列を得て、「沖繩復帰記念式典」が挙行されるにあたり、政府を代表してごあいさつ申し上げる機会を得ましたことは、私の最も喜びとするところであります。歴史上に記念されるべき沖繩の祖国復帰の日を迎えるにあたり、長い年月にわたつて筆舌に尽くせない辛苦に耐えながら、たゆまぬ努力を重ね、今日平和裡にこの歴史的偉業を達成された沖繩県民各位に対し、まず心からの敬意を表わすのであります。

さきの大戦は、日本全土にはなほだしい惨禍をもたらしましたが、とくに、沖繩は、直接戦場となり、最大の激戦が行なわれ、ほとんど全島が焦土と化したうえ、同胞十数万の尊い犠牲を出したのであります。加えて、敗戦國の宿命とはいえ、戦後も今日まで二十有余年の長い間、わが國の施政の外に置かれ、県民各位は生活のあらゆる面にお

いて祖国日本から隔絶されるという苦痛を負つてこられました。

すべての日本国民は、この沖繩の同胞のご労苦を深く心に銘じ、沖繩の復帰が一日も早く実現することを祈り続けてまいりました。

本日、沖繩は祖国日本に復帰し、ここに新しい沖繩県が豊かな未来に向かつて力強い第一歩を踏みだしました。

さきの大戦において散華された方々と、祖国復帰の日を待ち望みながら先立たれた方々のみ靈に、このことを謹んでご報告申し上げます。

沖繩の皆さん、長い間ほんとうにご苦労さまでした。ひたすらこの日のあることを信じて、辛酸に耐えてこられた県民各位の心情に思いをいたしますとき、まことに感慨胸に迫るものがあります。長い年月にわたつて米國の施政権下に置かれてきた沖繩には、本土と異なつた社会的、経済的実態が形成されており、県民各位におかれては、復帰の喜びと同時に、さまざまな不安を感じておられることと思ひます。

このりえは、県民各位が心から復帰してよかつたと喜んでいただける条件を整えるべく全力を尽くすことが、政府をはじめ沖繩を迎える国民全体の義務であり、せめてもの償いの道であると考えます。

政府は、すでに、必要な法令を整備し、本土の諸制度への円滑な移行を図るための特別の措置を講ずるとともに、明るく豊かな沖繩県の建設のために万全の準備を進めてまいりました。これらの施策をたてるにあたっては、常に県民各位のご意向をじゅうぶん汲みとつてまいつたつもりであります。なお今後、政府としてしなければならぬこと多いことを痛感しております。

沖繩は、わが国の最南端に位し、かつ、亜熱帯地域に属する唯一の県であり、経済的にも文化的にも重要な地位を占めております。この沖繩の地理的、自然的な特性を生かし、また、その美しい自然と伝統的文化をばぐくみながら、明るく豊かな沖繩県の建設に向かつて邁進してまいりたいと存じます。

念国民の多年の宿願であつた祖国復帰の日を迎えるにあたり、県民各位をはじめ一億国民がこぞつて、輝かしい沖繩の未来に向かつて決意を新たにされんことをお願いして、あいさついたします。

昭和四十七年五月十五日

國務大臣 山中貞則  
総理府総務長官